

令和4年度 指定管理施設運営状況評価表

1 施設の概要

施設の名称	大畑中央公園	
指定管理者	団体名	一般財団法人むつ市教育福祉振興会
	代表者	理事長 櫻井以文
	所在地	むつ市大畑町観音堂25-1
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日（3年間）	
指定管理業務の概要	<p>管理業務の目的</p> <p>条例に掲げる施設の設置目的を達成するために計画的かつ効率的な施設管理を実施するとともに、市民の健康増進並びにスポーツの振興により生活や文化の向上に寄与することを目的とする。</p> <p>管理業務の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設運営に係る使用の許可及び利用料金の徴収に関すること。 ・大畑中央公園の施設管理維持に関すること。 ・大畑中央公園の広報及び利用促進に関すること。 ・体育並びにスポーツを通じて地域住民の健康及び体力の向上のための施設提供に関すること。 ・上記に掲げるもののほか施設管理上必要と認められる業務に関すること。 	

2 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	48,710	48,715	5
うち利用料金額	2,210	1,215	▲995
うち指定管理料	46,410	47,407	997
支出合計 (B)	48,710	46,796	▲1,914
うち人件費	22,645	20,269	▲2,376
収支差 (A-B)	0	1,919	1,919
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	<p>○収入について</p> <p>計画と実績の増減については、「2 収支の状況」及び「3 施設利用の状況」に記載した表のとおりである。</p> <p>「2 収支の状況」中、利用料金額は、コロナ禍の行動自粛の影響からか伸び悩み、計画額2,210千円に対し1,215千円の収入にとどまった。</p> <p>電気料の高騰が毎月の支出に影響があった。燃料費調整額及び再エネルギー発電賦課金額の増加による影響は、支出額について、前年790,997円に対して当年1,445,101円（差額654,104円）であった。このことについては指定管理料の見直し協議があり、年度末に電気代高騰に伴う指定管理料の変更として997,000を受領した。</p>		

	<p>「3 施設利用の状況」中、利用者数は、コロナの感染状況が治まりつつある中、前年より増加したが、全施設において計画人数には至らなかった。</p> <p>施設ごとの利用状況等は、別添「事業報告書 添付資料」の「事業別計算書」、「指定管理事業 利用者実績及び収入明細書」に示してあり、野球場については、利用者数は、計画人数 2,400 人に対して 1,865 人の利用があり達成率は 77%、利用料金収入は、計画額 190,000 円に対して 128,000 円の収入、達成率は 67%となった。前年と比べると利用者数は増加したが、利用料金収入は 18,740 円減少した。これは、利用件数は前年同様だったものの、利用時間が減少したことが要因となっている。</p> <p>次に庭球場については、利用者数は、計画人数 600 人に対して 133 人の利用があり達成率は 22 %、利用料金収入は、計画額 70,000 円に対して 19,400 円の収入、前年と比べると 27%となり、前年と比べると利用者数及び利用料金収入ともに減少した。減少理由は、一般の利用は前年同様だったものの、児童・生徒の利用が大きく減少したことによるものである。</p> <p>次に陸上競技場については、利用者数は、計画人数 4,300 人に対して 3,502 人の利用があり達成率は 81%、利用料金収入は、計画額 150,000 円に対して 121,710 円の収入、達成率は 81%となり、前年と比べると利用者数は 95 人増加、利用料金収入は 38,260 円増加した。増加の理由としては、サッカーのリーグ戦開催数が増加したことと、自主事業として実施したグラウンド・ゴルフ教室の講師として依頼している、むつグラウンド・ゴルフ協会が練習場所として施設を利用したことが主な要因となっている。</p> <p>最後にプール施設については、利用者数は、計画人数 9,000 人に対して 6,094 人の利用があり達成率は 67%、利用料金収入は、計画額 1,800,000 円に対して 945,850 円の収入、達成率は 52%となり、前年と比べると利用者数は 494 人増加、利用料金収入は 135,060 円増加した。なお、資料に記載は無いが、区分別の利用状況においては、幼児の利用者数は減少したものの、児童・生徒、一般及びシニアの利用者数が増加している。また、回数券の売上枚数は、前年同様となったが、1 回券及び年間券の利用者が増加した。</p> <p>○支出について</p> <p>「2 収支の状況」中、支出合計の実績額が計画額より 1,914 千円減となっている要因は、人件費実績額が、計画額より 2,376 千円減となったことが主な要因となっている。</p> <p>人件費が減った要因は、休職中の職員が年度途中で退職したことで、パート職員 3 人を雇用したことが主な要因となっている。</p> <p>そのほか、燃料費については、年度初めから燃料費の高騰が懸念されたため、プールで使用する灯油については、プール室の温度管理を徹底することにより、灯油使用量の縮減が図られたことから執行額を抑制することができた。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	野球場	2, 4 0 0	1, 8 6 5	▲ 5 3 5
	庭球場	6 0 0	1 3 3	▲ 4 6 7
	陸上競技場	4, 3 0 0	3, 5 0 2	▲ 7 9 8
	プール	9, 0 0 0	6, 0 9 4	▲ 2, 9 0 6

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有)・無)

利用者の声は、意見箱を設置して利用者ニーズの把握に努めた。ホームページからも意見や要望を受信できるようにした。

意見箱で受けた意見等については、スタッフ全員で共有し検証しており、改善すべき部分は具体的な対策を持って対応した。

意見の内容は、好意的な意見が多かった。その内容については、月次報告で報告した。

意見箱及びホームページからの受信への回答は、プール棟廊下に掲示板を設けており、利用者への報告も兼ね公表している。

4 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
スポーツ振興事業・水泳教室	1,036	774	722
スポーツ振興事業・ルネックウォーキング教室	21	19	33
スポーツ振興事業・グラウンド・ゴルフ教室	132	0	72
スポーツ振興事業・少年軟式野球大会	69	28	109

5 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A (優良)：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B (適正)：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C (要改善)：指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	A
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B

②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6 指定管理者総合評価

④指定管理者は当該評価期間における自己評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、改善策も記載すること。

施設を管理運営するにあたり、新型コロナウイルスによる水際対策を徹底するため、利用者の検温及び手指消毒を実施するとともに、利用者記録簿による利用者の感染経路の把握にも努めた。

職員については、毎日の検温を実施するとともに、体調不良のときは躊躇なく休むことを徹底した。

事業経営については、指定管理者として宿命である施設の活性化、サービスの向上、コストの削減について取り組んだ。

施設利用料については、条例の範囲内で承認を受けた年度計画に基づき実施し、プール施設の回数券の設定により利用者ニーズ及び利便性の向上に努めた。

利用料金の徴収については、利用者数と利用料金について記録し適切な手続きにより管理するとともに、入金までの手続については、複数の職員によってその整合性を点検確認した。

施設の維持管理について、修繕費は、プール設備については経年に伴う補修があったものの、大きな修理がなかった。

年度当初から燃料費の高騰が懸念されたことから、プールに使用する灯油については、職員間で常に節約の周知徹底に努め、縮減を図った。その結果、灯油使用量実績は、前年 76,378 ㍓の使用量が当年は 66,624 ㍓となり、9,754 ㍓の節約となった。

また、電気料の高騰も毎月の支出に影響があり、燃料費調整額及び再エネルギー発電賦課金額の増加による影響は、前年 790,997 円の支出額に対して、当年は 1,445,101 円（増額 654,104 円）だった。

広報活動については、施設利用案内チラシを作成し公共施設並びにむつ市内の幼稚園及び小学校へ掲示等の依頼をしました。

自主事業は、次の4つの事業を実施した。

水泳教室は、6月から実施した。プール施設の利用の機会を増やすとともに、健康増進及び水泳の競技人口増加につながるきっかけづくりとして役割を果たした。水泳教室の参加者数は、プール利用者数全体の約17%を占めた。

7月には着衣水泳教室を実施した。防災教育としての側面があり、参加者に水難への備えについて伝えることができた。

ノルディックウォーキング教室は、5月、6月、9月に実施した。5月は公園内の八重桜の中をウォーキング、6月は大畑中央公園から大畑海浜公園までの往復をウォーキング、9月は、大畑中央公園から木野部峠を越えて自然の家までのコースを設定してウォーキングを実施した。参加者からは、「普段こんなに歩くことがないので、みんなと歩いて良かった。」という意見をもらった。10月にも木野部峠越えを予定したが、参加者が少なかったため中止とした。

グラウンド・ゴルフ教室は、5月～10月の毎月第2、第4水曜日に実施した。毎回参加する参加者は、回を重ねるごとに楽しさが増し、競技中は大いに盛り上がった。教室の日に合わせて、むつグラウンド・ゴルフ協会が教室の参加者と一緒に練習することもあり、多彩な競技のポイントを聞くことができ参加者の技術も上がった。また、協会の練習に伴い、陸上競技場の利用者数及び利用料金収入の増加にも繋がった。

少年軟式野球大会・あさひな杯は、10月に実施した。当初は2日間の開催日程で8チームに参加を呼びかけたが、コロナ感染の影響による辞退があり、4チームによる1日の日程による開催となった。選手たちは日頃の練習の成果を十分発揮してプレーをしていた。

職員の教育訓練については、施設利用者の安全を最優先に考えた施設運営と維持管理を適正に行うため、プール開設前と夏休みの繁忙期前に研修を2回実施した。また、事業計画のとおり消防訓練及び救助訓練を実施して、職員の安全対策の構築とともに資質向上とサービス向上の意識づくりを行った。今後も、定期的に教育訓練を実施し、これまで当施設を管理してきた経験を活かしながら、安心・安全で効率的かつ、効果の高い施設運営を行い、より成果を高めたい。

7 市の所管課総合評価

⑨所管課は当該評価期間における総合評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、指導内容も記載すること。

令和4年度はコロナからの利用者回復と燃料費等高騰が課題であったと思われるが、施設利用者数も庭球場以外はすべて回復傾向にあり、支出面でも人件費の削減と光熱費使用量を節約し、問題なく施設管理ができたと評価する。

自主事業では「グラウンド・ゴルフ教室」の開催により地元協会員へ魅力をPRしたことで、定例練習場所として招致できたことは、高齢者層の生涯スポーツの推進、健康増進につながったとして大きく評価した。

この事例を模範とし、施設を利用して、他のスポーツやレクリエーション活動を招致し、市民の健康増進の一助となるような施設を目指していただきたい。

また、自主事業の「ノルディックウォーキング教室」では参加者が少なく中止としたとあるので、市民ニーズを的確に捉え、新たな可能性を発掘できるよう挑戦していただきたい。

軽微な修繕が多くなっているが、大規模な修繕とならないよう専門業者と相談し予防修繕に努めていただきたい。